

自分らしくを選択した人たち —Part1—

「男だから、女だから」という決めつけ

↓
考え方に影響

「男性の職業、女性の職業」
無意識の思い込みとなる

皆さんは「女性ならこの職業だよ、男性ならあの職業だよ」と、気づかないうちに職業を「性別」で決めつけていることはありませんか？

また、無意識のうちに思い込んでいることや、幼い頃から積み上げられてきた、周りからの性別によってかけられる期待や言葉が、職業の選択肢を狭めていると感じたことはありませんか？

今回の特集では「職業の選択」から、一人ひとりの可能性を広げるジェンダー平等について考えてみます。

—男女の割合が大きく偏った職場・職種で働いている人に聞いてみました。—

◆電気工事技師の井上沙羅さんにインタビュー◆

薩摩川内市にも営業所がある(株)川北電工の鹿児島営業所勤務

Q.女性の技師は何人？

A. 現在、(株)川北電工(従業員数約300名)では現場で技師の資格を持って働いているのは一人です。

Q.家族の反応は？

A. 高校で機械電気科を選択したとき、就職で事務職ではなく技術職を選択したとき、どちらのときも女の子なのという理由で家族も友達も大反対でした。



井上沙羅さん
入社2年目 電気工事技師

Q.今の職業を選んだ理由

A. 小さい頃、家の近所でバケット車に乗って電線工事をしているのを見てのが好きで、大きくなったら自分もやってみたくてずっと思っていました。



Q.仕事の内容は？

A. 今は、光回線開通工事を主にしています。電柱に登ったり高所作業用のバケット操作も資格を取って配線工事などもしています。電線工事は危険と隣り合わせでもあるので細心の注意と同僚とのコミュニケーションが大事と感じています。

Q.会社の環境は？

A. 会社にはブラザー制度というのがあり、今は先輩の指導員がついて、仕事のやり方や悩みなど気軽に相談できる雰囲気です。男性だけの現場でのコミュニケーションの秘訣は？との質問に、「アニメ」が共通の話題になっています。

Q.今後は？

A. 取りたい資格がまだまだたくさんあるのでそれに挑戦していきたいです。目下の目標は、高さ40メートルくらいある鉄塔に登って工事ができるようになることです。

Q.お休みの日の楽しみは？

A. 高いところが好きなので宮崎にあるバンジージャンプに行ったり、テーマパークでジェットコースターに乗ることそして食べ歩きです。

Q.井上さんからのメッセージ

A. 職場体験に来た高校生からも「大丈夫ですか」と、尋ねられます。自分がやりたいと思ったことができているので、雨風の中を合羽を着て現場に行くこと、木が生い茂って虫が飛んでいるところをかき分けながらの仕事は大変ではありますがやりがいもあります。女性だからできないということはないので、是非、挑戦して欲しいです。

後輩が入ってきたら私が先輩になって「シスター制度」と呼ばれるのかな... (笑)

※ブラザーシスター制度... 新入社員に対して先輩の指導員がつき技術指導や仕事に関する悩みなどの相談・解決を図るための制度

2021年電気設備業界の女性就業者は全体の2%程度、また男性保育士の厚生労働省の登録者でみる割合は、2020年で5%程度とどちらも1割に満たない現状があります。次号では男性保育士のインタビュー記事を掲載予定



男女共同参画フェアを開催しました



女性だから
母親だからに
しばられず
自分の人生を
大切に生きる!!

自分らしくを
大切に
楽しく過ごして
いきたいなあ...

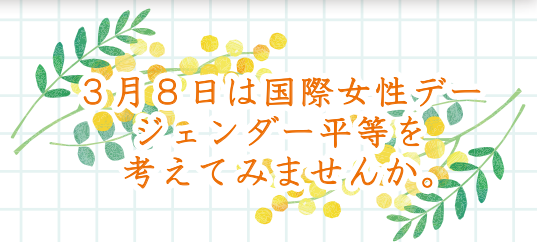


令和5年10月29日(日)「わたらしく あなたらしくを知る! 気付く! ~一人ひとりがしあわせに過ごすヒントさがし~」をテーマに開催しました。世代も性別も超え、たくさんの方々が多様な考え方を出し合い、一緒に学び、気づきが生まれた「ワークショップ」や、ホッと一息ついて、おしゃべりして自分の気持ちがフツと軽くなる「つんつんカフェ」などさまざまな催しを行いました。



ワークショップ参加者アンケートから多様性、共感、Iメッセージの学びをこれから伝えていこうと思いました。

令和5年度子どもたちのジェンダー平等標語入賞作品から お二人の高校生の標語と、その思いをご紹介します。



「国際女性デー」は、女性労働者による婦人参政権を求めるデモが起源となり、1975年に国連によって、女性の地位向上と社会進出の促進を目指し制定され、世界各国で記念行事が行われています。

本市でも「国際女性デー」を多くの方に知ってもらい、ジェンダー平等について考えるきっかけとなることを願い、川内なでしこライオンズクラブ主催の「国際女性デー記念講演会」を開催します。

- 期日** 3月8日(金)19時から
- 場所** SSプラザさんだい301~303会議室
- テーマ** 中高年期だから考えたい あなたとパートナーの性と健康

お申込みフォーム▶



学校でジェンダー・バイアスについて学んでいる子どもたちに、私たち大人がハッとさせられることも多いです。なかなか変わらない大人の意識。私たち大人はそれを否定しないように、伸びている芽を摘まないように心がけたいですね。

作者の思い
それぞれが生きたいように生きることができたらいいという思いで書きました。

優秀賞
大空に えがいていこう 自分いろ

作者の思い
自分自身が「らしく」してと言われたことではないが「らしく」ではなく自分の生き方ができたらいいという思いで書きました。

最優秀賞
「らしく」って その言葉で 消える道

おすすめの本

「女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる」

露の団姫(つゆのまるこ) 作



男社会といわれる「仏教」や「落語」の世界で生き生きと活躍される団姫さん。自分も周囲の人も幸せにすることができる「性別にとられない生き方」を自分の経験をもとに伝えられている本です。(ご縁に感謝)

相談窓口

- ①女性の相談窓口**
と き: 月~金(祝日、休館日、年末年始を除く) 9時~17時
TEL: 070-2636-7763, 25-6056
- ②何でも無料相談室**
と き: 毎週土曜日13時~16時
TEL: 25-6056 ※受付時間は15時30分まで
- ①②とも場所は男女共同参画センター(SSプラザさんだい内)**
- 配偶者等からの暴力**
と き: 月~金(祝日・年末年始を除く)9時~17時
ところ: 市役所社会福祉課
TEL: 20-6343(直通)
- よりそいホットライン**
と き: 24時間対応
TEL: 0120-279-338

編集後記

10月29日(日)に男女共同参画フェアを開催しました。私自身初めてのことで不安でいっぱいでしたが、たくさんの方々にご来場いただき、私が携わった展示ブースでは、男女共同参画について、すごろくをしながら、楽しく学んでいただきました。まだまだ私自身の途中ですが、この紙面がみなさんの、「わたらしく!」を考えるきっかけとなってくれるといいなあ。(S.S)

発行/薩摩川内市未来政策部コミュニティ課
編集/薩摩川内市男女共同参画推進実行委員会
問い合わせ先/〒895-8650 薩摩川内市神田町3-22
TEL: 0996-23-5111(内線4741)
FAX: 0996-20-5570
Email: hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp
(令和6年 2月発行)